

女子70kg級

準決勝戦第1試合

3 川上 由貴 ○ 大外刈
(フォーライフジャパン)

2 飯田 有香
(まるや接骨院)

昨年準優勝、第1シードの川上は初戦の2回戦でJ R東日本グループの小島佑香を降して準決勝戦に進出。対する飯田は1回戦、2回戦とも内股一本勝で絶好調。

左組みの両者の対戦は、開始早々川上が右袖釣込腰で飯田を攻め、その後、片襟の姿勢から左大外刈で刈り込んで飯田を畳に沈める。川上が開始27秒、一本勝で2年連続決勝の舞台に進む。

準決勝戦第2試合

2 上野巴恵 (小内刈)
(三井住友海上火災保険) (ゴールドスコア)

⊖ 3 大住 有加
(J R東日本グループ)

女子シニア強化選手の両選手は、いずれも初戦から一本勝で勝ち上がる。

共に左組み。両者釣手を殺し合いあってなかなか技が出ないが、大住が奥襟を持つと上野の動きが止まり、1分51秒、上野に指導。これ後上野は猛烈に攻勢に出るが、不覚にも2分56秒袖口を握り指導2。

大住は逃げ切るかと思われたが、終盤の4分40秒、上野の必死の小外刈りに大住は尻もちを着く。これが有効となって試合は振り出しに戻り、延長戦ゴールドスコアに突入する。

延長戦も上野、闘志を全面に出して攻めるが、開始31秒、大外刈に入ったところを足の長い大住はこれをうまく返して、上野を横転させ有効。勝負あり。

▽決勝戦

3 川上 由貴 ⊖ (背負投)
(フォーライフジャパン)

3 大住 有加
(J R東日本グループ)

左組みの両者は組み手に拘り、引手を絞り合う攻防を中盤まで続ける。試合が動いたのは終盤から。共に指導1で迎えた残り41秒、川上は低い右背負投を仕掛け、大住が耐えるところを前に押し込んで転がし、技ありを奪う。大住は残り21秒になって払腰で川上を横転させるが惜しくも有効にとどまる。そ

のままブザーが轟き大住の逆転ならず、川上昨年決勝戦敗退のうっぷんを晴らす嬉しい初優勝。